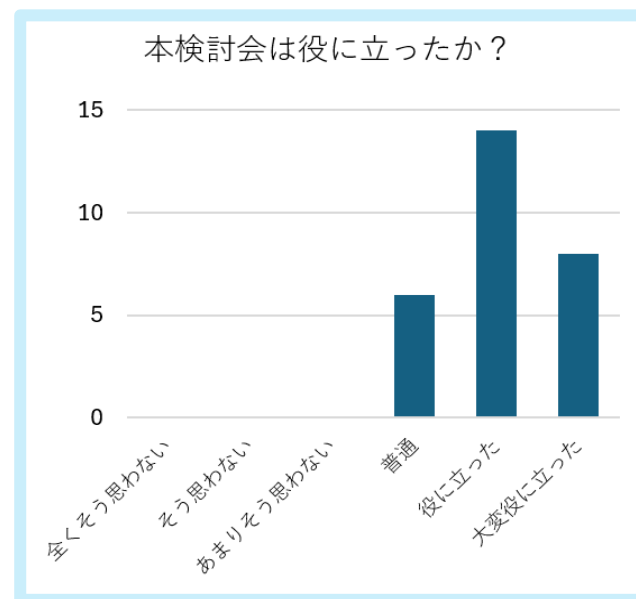


# 令和8年度 大学等における持続可能な地域づくりの担い手育成検討会

## 第1回検討会 オンライン参加者からのコメント等

### 具体的な事例共有の意義（評価）：

- 大学の**人材育成のカリキュラム**に加え、SDGsなどの大学全体の**具体的な取り組み事例**が参考になった
- なかなか接点を持ってない**大学のSDGsやGXについての内容**が聞けてありがたかった【民間企業】
- 環境人材の育成を全学規模で展開する工夫について、主に共通教育や課外活動の視点からの取組みを学ぶことができた。**必修のオンデマンド講義や認定制度、ポイント制度**などの工夫を通じて、**まずは多くの学生や社会人に環境について考えるきっかけを提供することが教育機関として重要**であることを改めて認識した
- **課題についても共有があり**参考になった
- 指導者、受講者の双方に対して、**動機付けや評価報酬制度化**は難しいテーマ（北大の例は勉強になった）
- 学生たちと環境をテーマとした**学生プロジェクト**（正課外活動）を実施しているので、参考になった
- **北大生**として、北大の取り組みを知ることができる良い機会となった



### 運営上の改善案：

- 大学全体の環境活動の取組のアナウンスが多かった。**少ない発表時間**なので、**個々のプログラム事例やPBLにしぼりこんだ事例紹介**をお願いしたい
- 多くの関係者が集まった中でおそらく様々な**疑問や課題感**があったかと思うが、それを**集約する機能が希薄**。後日集計して配布するなど**課題感の共有と意見交換の機会**は重要【民間企業】

### 今後の議論に期待すること：

- 次のステップとして、専門教育だけではなく、副専攻プログラムのような分野横断の超学際PBL学習の設定が重要だと思うが、そこへの資金や人材の投資が不足している（その点、北海道大学はサステナビリティ機構に専任教員を置いているのが素晴らしい）
- 個々の教員の取組を大学全体の取組に発展させていくにはどのような取組が必要か分かってほしい
- 大学でのサステナビリティへの取り組みがよくわかったが、その取り組みが政治や社会のSDGsの進展にどう貢献しているかについてももう少し詳しい話を聞きたかった
- 全体のスコープを広げたのは、より広いスコープの中での検討につながるので良い
- 録画がアーカイブで見れるとありがたい
- 環境人材の輩出促進 ⇒ PBLの観点からの課題感の棚卸が不十分に感じた。大学でPBLを行うことが目的ではなく、環境リテラシーを持つ人材育成と環境コンピテンシー（実装力）を養うPBLといった役割分担、またGXの流れでコンピテンシーを持った人材が活躍できるような仕事をつくるのが重要【民間企業】
- 解決能力を得るには、教育を受ける側が自ら課題設定し、作業を行う必要がある。サポートはできるが、能力を与えることはできない。知識や機会の付与で十分だと思う



## 正本 英紀 先生からの情報共有

愛媛大学 地域協働推進機構

地域専門人材育成・リカレント教育支援センター 副センター長・准教授  
(2024-2025年度しまなみ未来社会人材育成プラットフォーム コーディネーター)

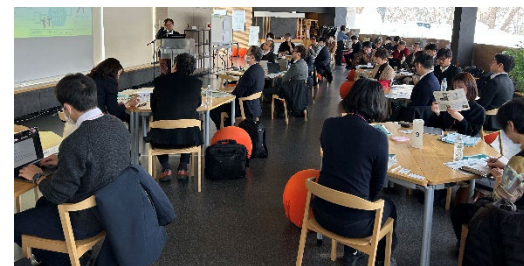
- GXなどの「未来技術の社会実装」においては、専門人材以外に異なる分野の技術を結び付けたり、産学民官連携を図るための「**地域ハブ人材**」の育成が急務になると考えられます。
- GX・ネイチャーポジティブ・サーキュラーエコノミーの推進においては、**企業・社会の抵抗感が非常に強く**、ただでさえ少ない**現役の学生を社会に送り込むだけでは解決に結びつかない**と思います。むしろ社会変革の阻害要因になりつつある**中堅層から若手管理職の層を社会観から変えていく**必要があり、**20-30年前に学んだ常識を丸ごと入れ替えるような取組が必要になる**かと思います。
- 多様な専門領域を有する総合大学はこの部分で有効な機能を果たすことができますし、**リカレントプログラム**、さらには「学環」などの小規模社会人大学院整備において、**産学民官金の知識やアイデアを結集していくべき**と考えています。
- 前回会合では学内取組や現役学生への対応が主でしたが、現役学生は2040年までに半減するという状況を踏まえ、**社会人再教育による人材育成重視に舵を切るとともに、大学を核として社会全体でGX・ネイチャーポジティブ・サーキュラーエコノミー人材育成に取り組むよう**、御尽力を頂ければと考えた次第です。



地域の経営者・管理職に人材育成の重要性を理解していただくためのセミナー(2025年12月 広島県呉市)



今治市長を中心に、スマート社会産官学民協働まちづくりフォーラムのアウトリーチ講義に御出講いただいた皆様(2025年10月 愛媛県今治市)



リカレントサミットin札幌における各大学担当者ワークショップ(2026年1月 北海道札幌市)

**プログラム名** 地域創生イノベーター育成プログラム(東予)：12日間・63時間 **お試し部分受講可(最大8コマ)**



### ① 充実の外部講師陣(19名)

講義相当分の過半数を大学外の産学民官の第一線で活躍する外部の若手・中堅人材から選出

### ② 合意形成技術等の重視

えんたくんワールドカフェを用いた演習やマイプロジェクトプレゼンテーションの実施により、異分野・異主体との連携に資する技術を習得

### ③ チューターの配置

各講義の着目点やレポート作成のヒント、将来の進学や資格取得の方向性など、キャリアコンサルタントや労働局との連携を図りながらチューターが支援

### ④ 水素社会エクステンションプログラム

開催地の地方自治体や民間企業の意向を踏まえながら、脱炭素先行地域の構築に資するエクステンションプログラムを創設



### ⑤ アウトリーチの実施

2025年10月に愛媛県今治市で開催されることとなった「スマート社会産官学民まちづくりフォーラム」において開放講義を行うとともに、交流会で受講者、講師、フォーラム参加者の交流の場を創出



### ⑥ オープンバッジの発行

修了者に対しては、地域創生イノベーターの称号付与とともに、オープンバッジを発行

**14名の正規受講者、880名の部分受講者が参加**  
→リカレントサミットin札幌でも事例発表！



正本 英紀先生からの情報共有

愛媛大学 地域協働推進機構  
地域専門人材育成・リカレント教育  
支援センター 副センター長・准教授

- 目的：地域ハブ人材の育成
- 未来社会、特にGXの色合いの強いリカレントプログラム
- 初期のデザインの段階から環境省四国事務所や四国EPOが参画
- 愛媛大学、広島大学、島根大学及び愛媛県・広島県内外の様々な組織が連携・協力
- 出講講師の半数以上が大学外の外部講師

しまなみ未来社会人材育成プラットフォーム  
(産学民官金の23団体で構成)

起業・創業したい方、迷っている方、受講してみませんか？

あなたの思いを創業につなげる第一歩を！

# 能登里山里海 創業塾 2026

受講無料  
要申込

## 「能登里山里海 創業塾」とは

金沢大学能登里山里海SDGsマイスタープログラムと興能信用金庫が開講する創業者支援プログラムです。能登での創業（事業化）に必要な知識を経営のプロから学べます。

## 創業に有利な「特定創業支援事業」認定資格を取得可能

基礎講座を受講し（第1回、第2回、第4回、第5回の受講が必須）、修了証書を授与されることを条件に、珠洲市・輪島市・能登町・穴水町による「特定創業支援事業」の認定資格を得ることができます。これにより、創業・事業化の際、様々な支援をより有利な条件で受けられます。

## 2026年度 講義日程

### 基礎講座

- 第1回：9月12日「経営」 17:00～18:30
- 第2回：9月26日「販路開拓」 17:00～18:30
- 第3回：10月10日「ビジネス・ワークショップ」 9:30～16:00
- 第4回：11月21日「財務」 17:00～18:30
- 第5回：12月19日「人材育成」 17:00～18:30

※ 第3回は講義時間、会場が異なるとともに、金沢大学能登里山里海SDGsマイスタープログラム講義と合同開催いたします。

### 実践編 (個別講座)

12月から2027年2月 月曜日～金曜日に5回程度実施します。  
創業塾＜基礎講座＞の修了生を対象に、希望する方には事業プランの磨き上げや各種助成、融資等に必要な資料作成の指導を個別相談方式で受けることができるアドバンス・プランです。  
受講できる対象となる方の条件や受講方法については、基礎講座の受講時にご案内します。

## 会場・受講方法

受講は現地会場（金沢大学 能登学舎（珠洲市））での対面講義となりますが、状況によってオンラインでの講義を併用する場合があります。受講方法は申し込み後にお知らせいたします。

### 募集期間

令和8年6月6日(土)～令和8年8月31日(月)まで

### 募集定員

基礎講座：25名程度

実践編（個別講座）：5名程度

お申し込み方法は  
裏面をご覧ください

主催



金沢大学 能登里山里海 SDGs  
マイスタープログラム



地域にまっすぐ  
興能信用金庫

## 金沢大学

## 能登里山里海SDGsマイスタープログラム

<https://meister.w3.kanazawa-u.ac.jp/meister/>

生物多様性をベースに、景観や地方創生、災害復興の概念を取り入れたプログラム

正本 英紀先生からの情報共有

愛媛大学 地域協働推進機構

地域専門人材育成・リカレント教育  
支援センター 副センター長・准教授

## 金沢大学履修証明プログラム

# 能登里山里海SDGs マイスタープログラム

## 社会人受講生募集

大学生も受講可能

### 受講期間

2026年6月6日(土)～2027年3月6日(土)

### 受講場所

金沢大学能登学舎（珠洲市三崎町小泊33-7）他

### 履修資格

高等学校を卒業した方（もしくはこれと同等以上の学力を有する方）

### 募集定員

実践探求型 12名程度 知識習得型 20名程度

### 参加費用

実践探求型 50,000円 知識習得型 30,000円

### 申込方法

二次元コードまたはWebサイトから  
<https://meister.w3.kanazawa-u.ac.jp/meister/recruitment/>

### 応募締切

2026年5月12日(火) 17:00【必着】

## お問い合わせ先

金沢大学能登学舎

Tel:0768-88-2568 E-mail:meister@adm.kanazawa-u.ac.jp



能登の里山里海をはじめとする  
豊かな地域資源を活かし、地方創生や  
地域活性化に向けた活動を実施できる  
知識・能力を有する人材の育成を  
目指すプログラムです。



募集要項・申込は  
こちらから